業務棚卸表（事後評価表）

A表

年度	平成21年度

基本目的　8　市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせる

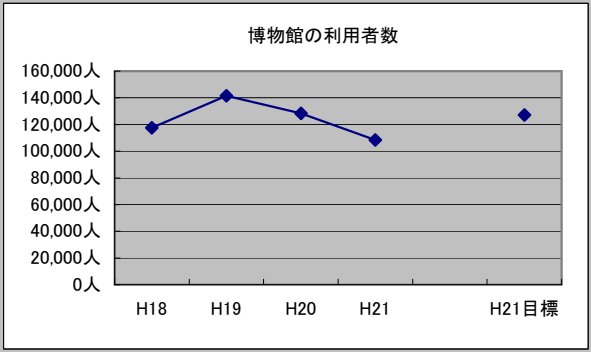
行動目標　8－1　市民の芸術・文化活動が高まる　（所管課名　教育委員会博物館）

任務目的	市民の創造性を高め、郷土を大切にする心や科学する心を育み、よりよいまちづくりや未来を考える場を提供する。	達成度	☆☆☆

任務の成果・活動指標の推移

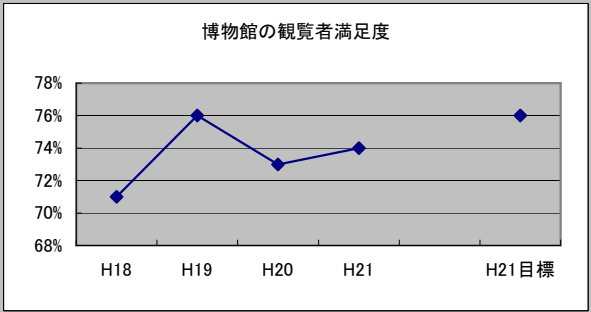
博物館の利用者数

H18実績	117,439人
H19実績	141,624人
H20実績	128,397人
H21実績	108,490人
H21目標	127,200人



博物館の観覧者満足度（アンケート調査結果）

H18実績	71%
H19実績	76%
H20実績	73%
H21実績	74%
H21目標	76%



指標の説明

任務目的を達成するためには、なるべくたくさんの人に利用していただき、満足していただく必要があることから、観覧者や各種催し物参加者などの博物館利用者数と観覧者アンケートによる満足度を掲げた。

○　任務目的に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成21年度実績

○展覧会事業については、「ファーブル昆虫記の世界展」や「内藤ルネ展」など話題性の高いものを開催するとともに、本市唯一の国史跡である久留倍（くるべ）遺跡を紹介する「古代朝明の風景展」を開催した。また、年間4回にわたる学習支援展示の実施や、市指定文化財となる古文書の蒐集などを通して、「郷土を大切にする心を育み、世代をつなぐ」ことに努めた。
○天文事業については、平成21年が世界天文年にあたることから、マスコミ等の後押しもあり、多くの利用者で賑わった。特に7月22日の部分日食観望会では、プラネタリウムの夏番組で当館オリジナルの“こにゅうどうくん日食グラス”を配布するなど、話題作りが実を結び、当日は約2000人の参加者を得ることができた。天候が思わしくなかったが、雲の切れ間から80％欠けた太陽を見た参加者は、歓声に沸いた。
○学校のカリキュラムに合わせた学習支援展示の実施や、理科離れ対策としての天文連携授業の実施などを通して、次世代を担う子供達の学校教育をより豊かにできるよう努めた。

平成22年度見通し

○幅広く多くの市民が興味と親しみを持てる企画を進め、市民の創造性を高められるような展覧会事業の展開を図る。
○世界天文年の翌年にあたり、プラネタリウムの集客減が懸念されるが、話題性のある番組作りを進めることにより、観覧者の確保を図る。

これからの課題、施策等展開の方向性

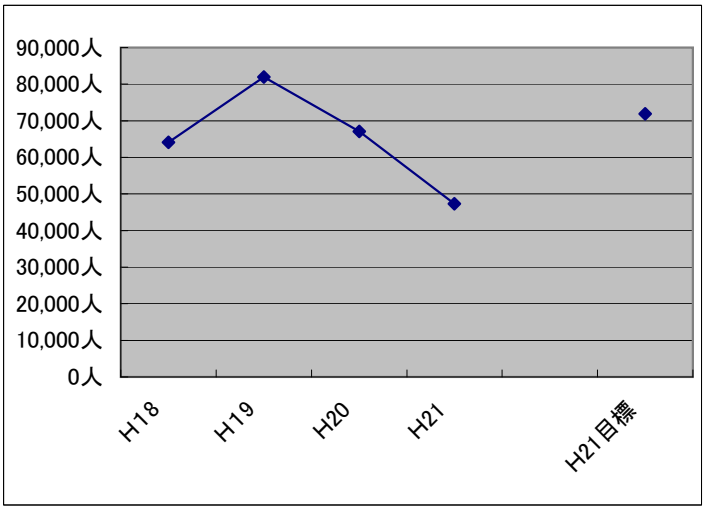
○博物館の使命を達成するため、できるだけ多くの安定した観覧者を得られるよう、展覧会の企画やプラネタリウム番組の制作に一層の努力と工夫を行う。
○学習支援展示やプラネタリウム学校連携授業を通して、学校教育をより豊かなものにできるように努める。
○常設展示やプラネタリウム機器の老朽化が進んでいるため、できるだけ早急に、具体的な改修計画を進める。

業務棚卸表（事後評価表）

B表

年度	平成21年度

目的達成に必要な手段		指標	年度	実績／目標	達成度
1	展示の実施	観覧者数	H18実績	64,076人	
			H19実績	81,981人	
			H20実績	67,128人	☆☆
			H21実績	47,355人	
			H21目標	71,900人	



平成21年度実績

○「木とあそぼ！－親子で楽しむふれあいランドー」展は連休（GW)をはさみ、さらに「ファーブル昆虫記の世界」展は夏休み期間に合せたことで、両展とも、博物館に訪れた多くの親子は家庭とはまた異なった親子のふれあいを楽しみながら、展示を楽しむ光景が見られた。
○9,700人を超える観覧者を記録した「ファーブル昆虫記の世界」展では、半数以上が市外からの来館者であり、新しい客層の開拓ともなった。
○本市で唯一の国史跡である「久留倍官衙遺跡」を紹介する初めての展覧会であった。古代の役所を考えるために、東海・近畿の関連する資料を多く展示するなど、入館者数は多くはなかったが、考古学の専門家からは、一定の評価を得た展覧会であった。

平成22年度見通し

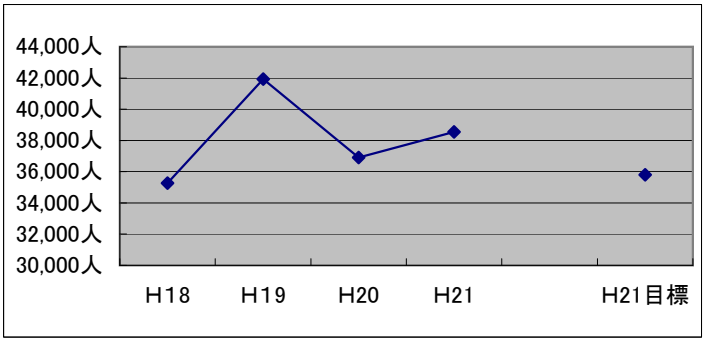
○市民の各年齢層やニーズを考慮しつつ、歴史、美術、戦後文化など幅広い分野の展覧会を実施してより多くの利用者の確保を目指すともに、新たに開拓した利用者の定着を図るため、見応えのある企画を実施していく。
○夏休みに実施する「ひめゆり　平和への祈り」展では、ひめゆり隊の生存者の体験談を聞く講演会を開催し、改めて平和の尊さを訴えるとともに、学校との連携を図り平和学習の機会とする。

事業名	H20決算	H21予算	H21決算	決算差引
特別展等開催	42,596	42,298	41,671	△ 925

これからの課題、事業展開の方向性

○社会教育施設としての役割を再認識し、市民の実生活を通して教養を高め得るような企画を行いながら利用者層の幅を広げ、運営基盤の拡充を図る。
○新学習指導要領に基づき、学校との連携、協力を積極的に行っていく。
○開館後17年が経過したことから、展示設備の老朽化対策や、時代の要求に応じた新しい展示方式への挑戦を含め、常設展示等の改修計画を検討していく。

目的達成に必要な手段		指標	年度	実績／目標	達成度
2	プラネタリウム投映の実施	観覧者数	H18実績	35,264人	
			H19実績	41,926人	
			H20実績	36,900人	☆☆☆
			H21実績	38,538人	
			H21目標	35,800人	



平成21年度実績

○平成21年は世界天文年にあたることから、話題となる天文現象等を題材に一般向け番組を自主制作した。また、春番組では、ガリレオが初めて望遠鏡で星を眺めて400年にあたることから、これらを題材とした番組を自主制作し、生解説で紹介した。また、夏番組では、皆既日食に向けて太陽の番組を自主制作し、皆既日食のしくみについて解説するとともに、手作り日食グラスを配布した。

平成22年度見通し

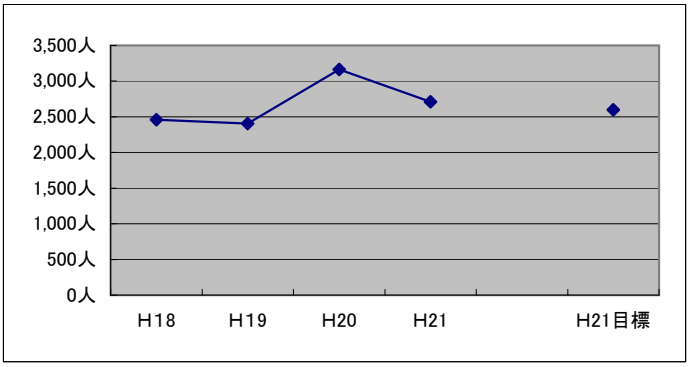
○22年度には、国際宇宙ステーションの完成が予定されていることから、宇宙を題材にした番組を自主制作していく。多くの市民に宇宙の魅力を伝えるとともに、学校連携を通して、子どもたちに宇宙への魅力を伝える。
○幼児や小学生などの若年層が星空に興味を持つきっかけを提供するために、キャラクター番組を投映し、キャラクターを通してできるだけ多くの市民に天体や星空を眺めることの魅力を伝えていけるよう努める。

事業名	H20決算	H21予算	H21決算	決算差引
プラネタリウム投映事業	14,798	11,306	11,268	△ 3,530

これからの課題、事業展開の方向性

○より効果的な広報について、積極的に取り組む。
○自主制作番組の特性を生かした番組作りを進める。
○機器の老朽化が進んできているため、さらなるメンテナンスプログラムの充実を図る。

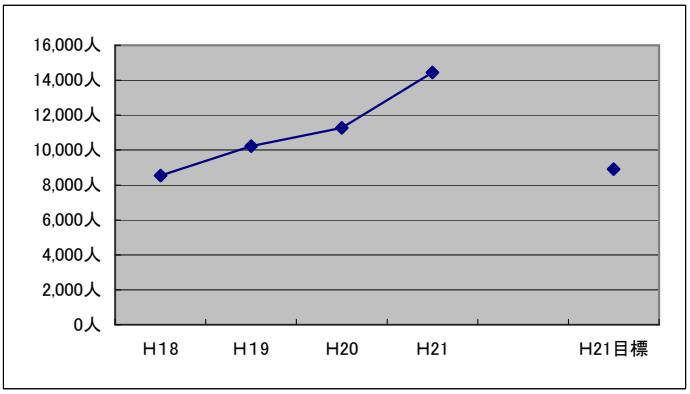
目的達成に必要な手段		指標	年度	実績／目標	達成度	基本的な手段に対する評価
3	教育普及事業(博物館)の活動	参加者数	H18実績	2,461人	☆☆☆	**平成21年度実績** ○子ども博物館教室及びミュージアム体験では、展覧会の内容をより親しみやすいものとする体験的な教室を開催した。 ○学校からの団体見学では、体験用キットを整え、興味をもって展示の見学ができるような方法を工夫した。 ○館職員と学習支援ボランティアとが協働し、子ども達へのきめ細かい働きかけを大切にしてきた。 ○ミュージアムセミナーは、大幅な受講増となった。
			H19実績	2,406人		
			H20実績	3,164人		
			H21実績	2,709人		
			H21目標	2,600人		



平成22年度見通し
○本年度は、子ども博物館教室において、失われつつある年中行事を取り上げ、次世代に伝えられるよう努めていく。
○大学生による博物館実習では、様々な課題を与えることにより考える力を付けさせる。また、常設展示をテーマに取り上げ、展示手法を学ばせることで、実習効果を向上させる。
○各種団体より出前講座の要望が増加しつつつあるので、積極的に対応していきたい。

事業名	H20決算	H21予算	H21決算	決算差引	これからの課題、事業展開の方向性
教育普及活動事業	1,480	1,152	1,064	△ 416	○次代を担う子ども達を対象とする事業は、最も重要な事業のひとつとして位置付けており、学校・園との連携を今後も強化していきたい。 ○学習支援展示の見学が授業の一環として定着するよう、内容や受入体制の充実を図っていきたい。

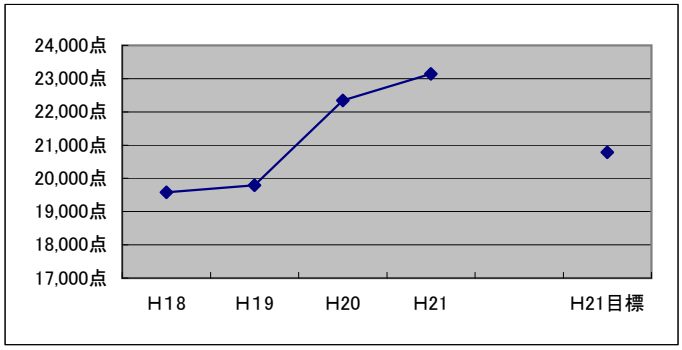
目的達成に必要な手段		指標	年度	実績／目標	達成度	基本的な手段に対する評価
4	教育普及事業(天文)の活動	参加者数	H18実績	8,532人	☆☆☆☆	**平成21年度実績** ○世界天文年のPRおよびそれに関連した事業を行ったことにより、教育普及事業への参加者が増加した。特に、7月22日の日食観望会では、早朝からプラネタリウム内で家族を対象とした日食についての解説を行ったり、トカラ列島からの皆既日食ライブ中継を大画面で流すとともに、事前に小入道をモチーフにした手作り日食グラスを配布したことで、日食当日2000人の市民が市民公園に集まり、天文現象を楽しんだ。
			H19実績	10,224人		
			H20実績	11,273人		
			H21実績	14,443人		
			H21目標	8,900人		



平成22年度見通し
○移動天文車「きらら号」をさらに活用して、多くの市民や子どもたちに星や惑星、月食などの天文現象を観てもらうために、市内各地で観望会を実施し、天体観測や星空に魅力を感じてもらう機会を多くつくる。また、ボランティア研修を積極的に行い、観望会のレベルアップを図る。
○小中学校との連携による授業のさらなる強化を図り、特に中学校は市立全校での実施を目指す。

事業名	H20決算	H21予算	H21決算	決算差引	これからの課題、事業展開の方向性
天文教育普及活動事業	2,002	1,314	1,142	△ 860	○学校教育との連携をさらに強め、理科離れ対策となるよう事業内容及び受入体制の充実を図る。 ○プラネタリウム学習番組の充実を図るため、コンテンツを増やす。

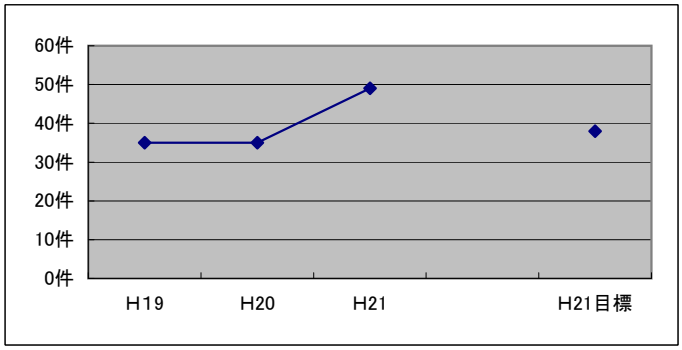
目的達成に必要な手段		指標	年度	実績／目標	達成度	基本的な手段に対する評価
5	資料の収集保存	累積資料点数	H18実績	19,578点	☆☆☆☆	**平成21年度実績** ○引き続き地元関連の資料収集と整理に努めた。 ○毎年実施している学習支援展示「むかしの暮らし」展によって、市民から歴史や民俗関係の資料の寄贈が多くあった。累積資料点数の増加は、市民が博物館に寄せる関心が高まってきたことによるものと考えている。
			H19実績	19,794点		
			H20実績	22,344点		
			H21実績	23,145点		
			H21目標	20,784点		



平成22年度見通し
○引き続き地元関連の資料収集と整理に努める。
○当初予算として確保できる資料購入費が限られていることから、展覧会や学習支援展示の開催を通して、さらなる市民からの寄贈を促進する。

事業名	H20決算	H21予算	H21決算	決算差引	これからの課題、事業展開の方向性
資料収集保存事業	7,762	6,410	6,481	△ 1,281	○経常的に資料購入費を予算計上することが難しい状況であり、何を次代に引き継いでいくべきかを長期的視野に立って見極めることが不可欠である。また、収集資料のより一層の活用を図るためには、常設展示内に収蔵品の展示スペースを設ける必要があり、改修計画の中で検討していく。

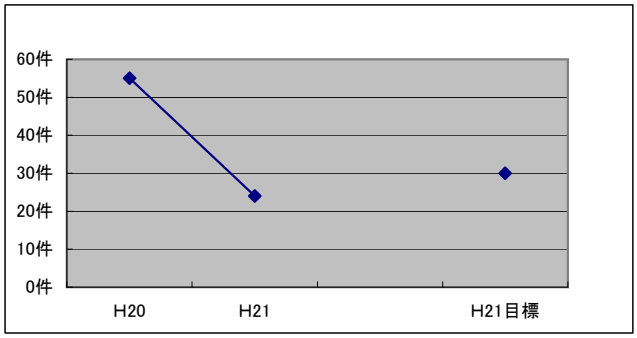
目的達成に必要な手段		指標	年度	実績／目標	達成度	基本的な手段に対する評価
6	調査研究の実施	調査研究の件数	H18実績	45件	☆☆☆☆	**平成21年度実績** ○学芸員の博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的研究をはじめさまざまな豊富な知識を享受し、特別展の開催等、多くの事業に資するため、各種情報の収集に努めつつ、調査研究活動を行ってきた。
			H19実績	35件		
			H20実績	35件		
			H21実績	49件		
			H21目標	38件		



平成22年度見通し
○博物館及び分野ごとの共通テーマに基づいた年度ごとの課題調査、学芸員個別の研究テーマによる調査、特別展・企画展に向けた事前の調査を柱として、博物館の諸活動を支える基礎的活動として活発に活動していく。

事業名	H20決算	H21予算	H21決算	決算差引	これからの課題、事業展開の方向性
調査研究事業	365	565	554	189	○人員削減（20年度）のため調査研究のテーマを将来の展覧会開催や各種講座など確実にその成果を現せるものに絞って効率的な調査を行う必要がある。そのための調査項目の年次計画策定が課題となる。

目的達成に必要な手段		指標	年度	実績／目標	達成度	基本的な手段に対する評価
7	利用者環境の向上	不満件数(来館者アンケート調査)	H18実績	15件		**平成21年度実績** ○年次計画に基づいて施設各所の修繕等を行った。 ○常設展示設備の老朽化が進み、故障率が高くなってきているので、入札差金等を利用して可能なものは修理を行った。
			H19実績	43件		
			H20実績	55件	☆☆☆☆	
			H21実績	24件		
			H21目標	30件		



平成22年度見通し
○歳出予算の削減が厳しく、年次計画による施設修繕は実施できない。当面は、壊れた箇所を緊急で修理する対応で進めていく。
○来館者により多く満足してもらえるよう、案内業務などの委託業者も含めて研修などによりさらなる接遇の向上に努める。

事業名	H20決算	H21予算	H21決算	決算差引	これからの課題、事業展開の方向性
運営事業	33,903	34,898	32,818	△ 1,085	○空調を管理するコンピュータシステムの老朽化が激しく、修理の時期に来ていると思われる。予算的に厳しい折から、既設枠の中で修理対応が出来るような工夫を検討していく。 ○今後も入札差金等を活用して、必要な部分の修繕を迅速に対応していく。 ○来館者の快適性を損なったり、収蔵品の保管に影響が出ないよう、効率的な維持管理を行っていく。
施設設備維持管理	71,609	71,747	71,382	△ 227	
展示設備維持管理	1,449	2,173	2,834	1,385	
プラネタリウム維持管理	9,309	9,511	9,678	369	
移動天文車維持管理	455	474	15,297	14,842	